



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2021年3月期 決算概要

2021年5月13日

バンドー化学株式会社



I . 2021年3月期 決算概要

II . 2022年3月期 業績予想

I . 2021年3月期 決算概要

2021年3月期 決算ハイライト



(単位：百万円、%)

		2020/3	2021/3		2021/3	
		実績	実績	前期比	業績予想値 (2/10公表)	達成率 (対業績予想値)
売上収益		90,247	81,371	△8,876	80,000	101.7%
コア営業利益		5,252	4,938	△313	4,000	123.5%
コア営業利益率		5.8%	6.1%	+0.2%	5.0%	
営業利益		2,056	5,377	+3,320	4,500	119.5%
税引前当期利益		2,095	5,618	+3,523		
親会社の所有者に帰属する当期利益		682	3,943	+3,260	3,000	131.4%
為替レート	U S D	108.93	105.93		105.53	
	T H B	3.51	3.41		3.39	
	人民元	15.59	15.65		15.39	

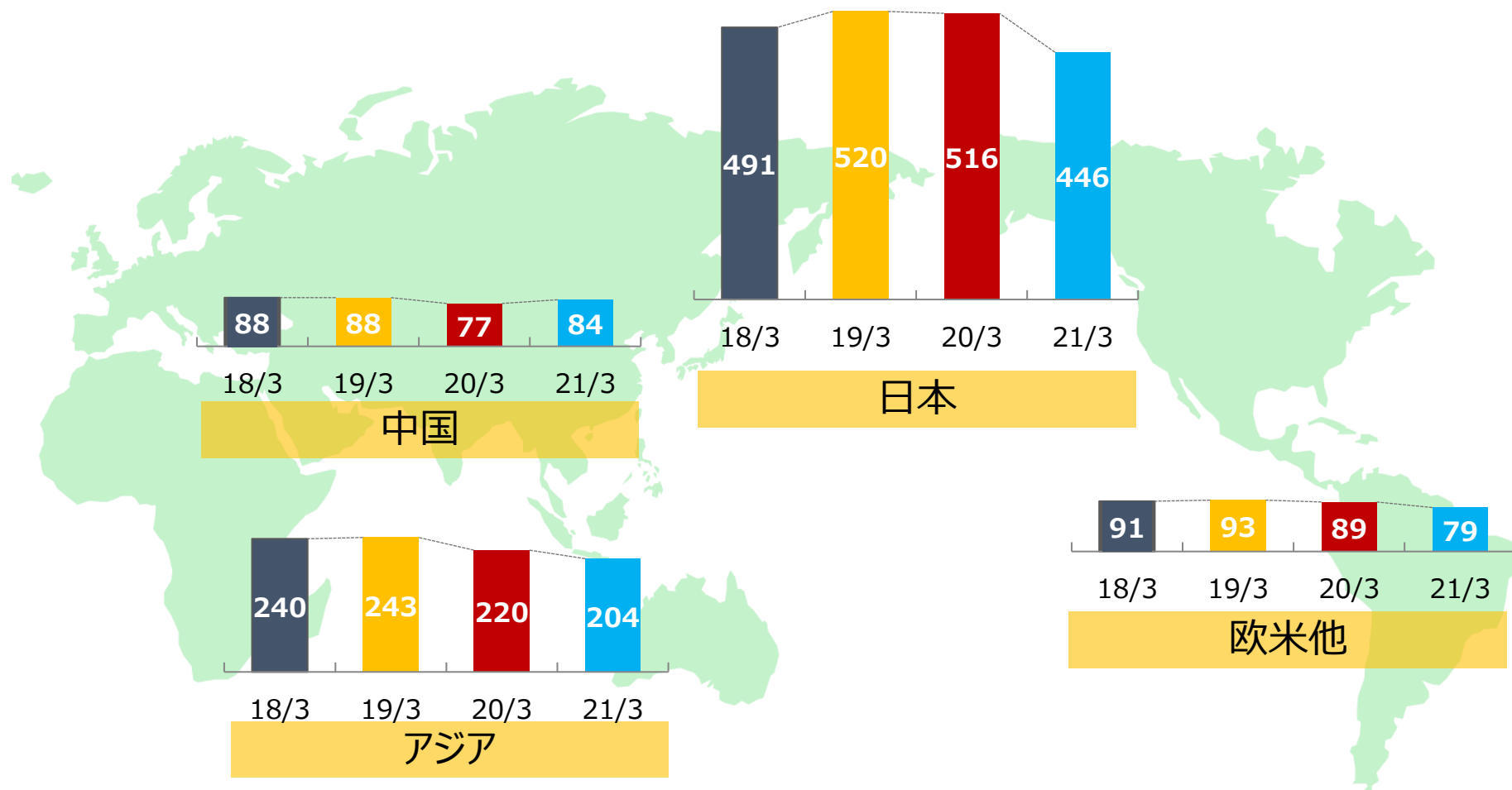
新型コロナウイルス影響下での危機管理活動を 継続しながらも、中長期経営計画に沿った改革を推進

取り組み内容

1. 従業員、お客様、関係者の生命と安全を最優先とし、新型コロナウイルス感染リスクを最小限に抑えながらの生産活動の継続、ならびに営業活動を継続
2. 売上収益減少の下、徹底した経費削減・原価低減活動に注力
3. 当社HPの特設サイト「BANDO SHOWROOM」等を開設、Webinarの活用拡大
With コロナにおける新しい顧客コミュニケーションを推進
4. 中期経営計画に沿った新製品の投入継続
 - 食品用非付着性ベルト「ミスターシルキータッチ®」（2020年8月）
 - 伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」の技術を応用した医療機器「ATメジャー®」（2020年10月）

2021年3月期 所在地別売上収益

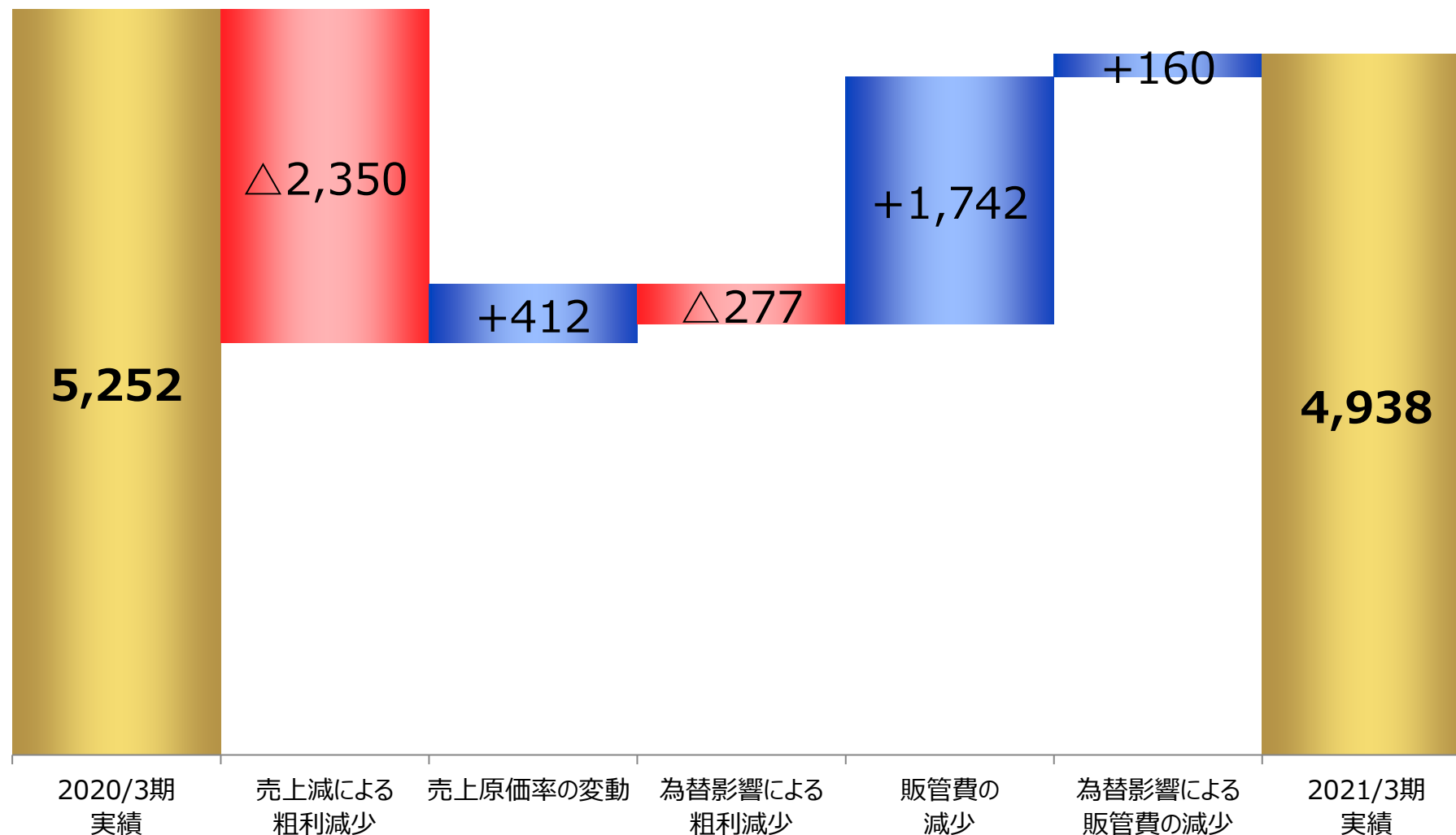
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

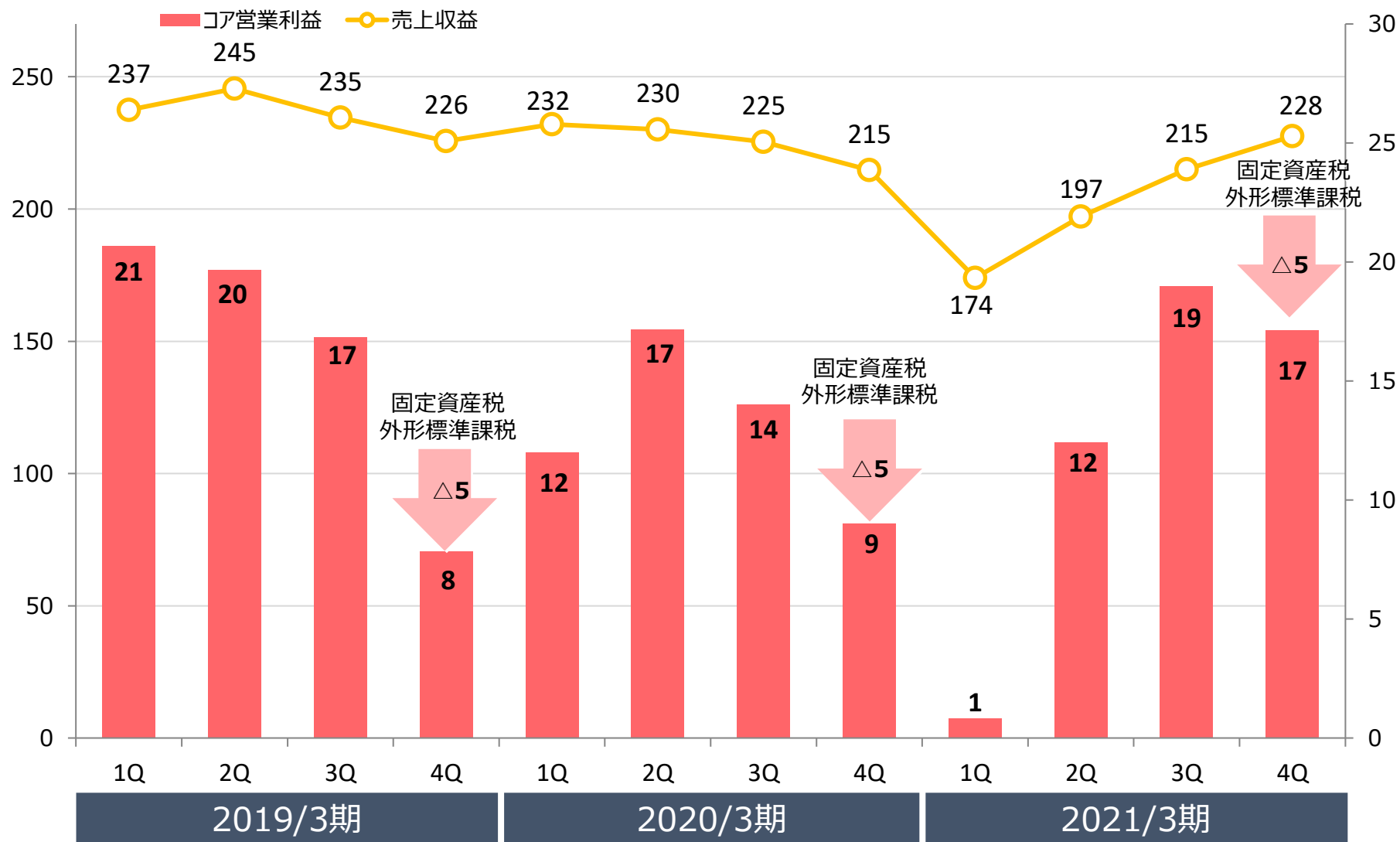
2021年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



四半期推移（売上収益/コア営業利益）

（単位：億円）



2021年3月期 セグメントの状況



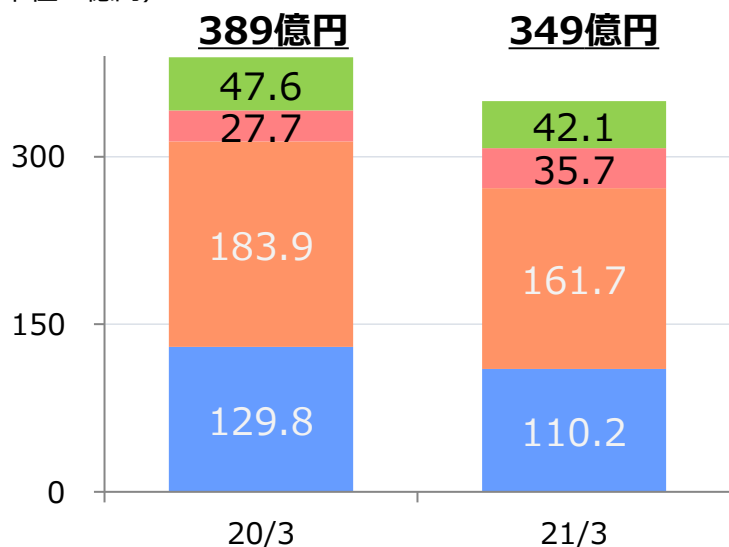
(単位：百万円)

	2020/3	2021/3		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	90,247	81,371	△8,876	△9.8%
自動車部品事業	38,953	34,975	△3,977	△10.2%
産業資材事業	32,765	30,232	△2,533	△7.7%
高機能エラストマー製品事業	13,685	11,883	△1,802	△13.2%
その他	5,575	5,368	△206	△3.7%
セグメント間消去	△731	△1,087	△355	—
コア営業利益	5,252	4,938	△313	△6.0%
自動車部品事業	2,129	2,386	+257	+12.1%
産業資材事業	2,195	2,238	+43	+2.0%
高機能エラストマー製品事業	333	△129	△462	—
その他	595	339	△256	△43.1%
セグメント間消去等	△1	103	+105	—

自動車部品事業 概要

所在地別売上収益

(単位：億円)



欧米他
(△11.5%)

- 自動車メーカーの減産や操業停止により販売が減少。
- 欧州においては、補修市場向け補機駆動用伝動ベルトなどの販売が増加。

中国
(+28.9%)

- 中国において自動車生産台数が好調に推移したことにより、自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルトなどの販売が増加。

アジア
(△12.1%)

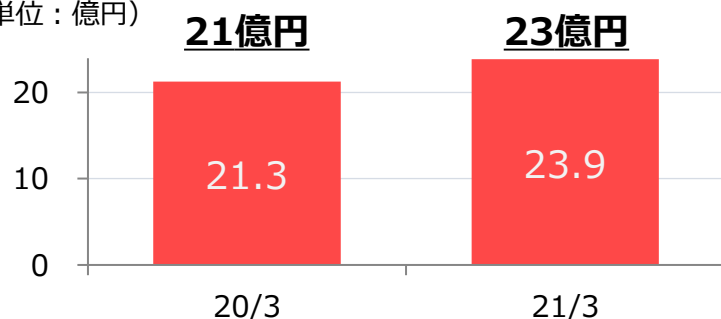
- 自動車・二輪車メーカーの減産や操業停止により販売が減少

日本
(△15.1%)

- 積極的な営業活動により補修市場向け新商材や多用途四輪車用変速ベルトの販売が増加。
- 第2四半期までの自動車生産台数の減少の影響が大きく、補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品の販売が減少。

コア営業利益

(単位：億円)



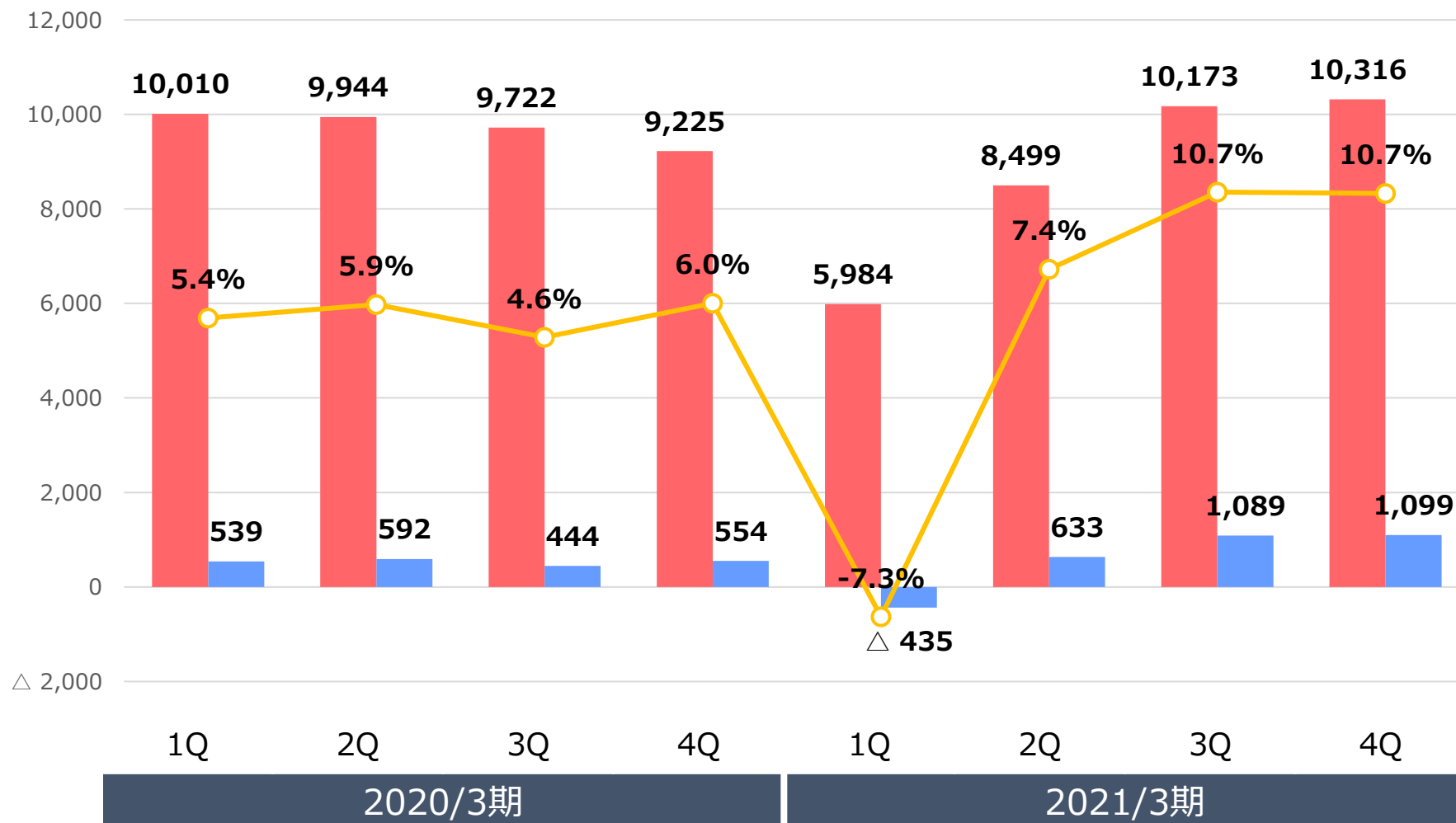
コア営業利益
(+12.1%)

- 販売は減少したが、徹底した原価低減活動により、利益が増加。

自動車部品事業 四半期推移

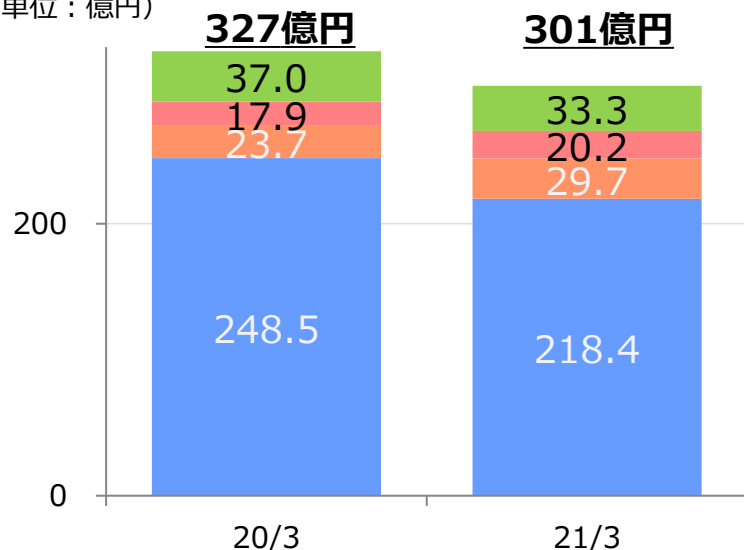
(単位：百万円)

売上収益 セグメント利益 営業利益率



所在地別売上収益

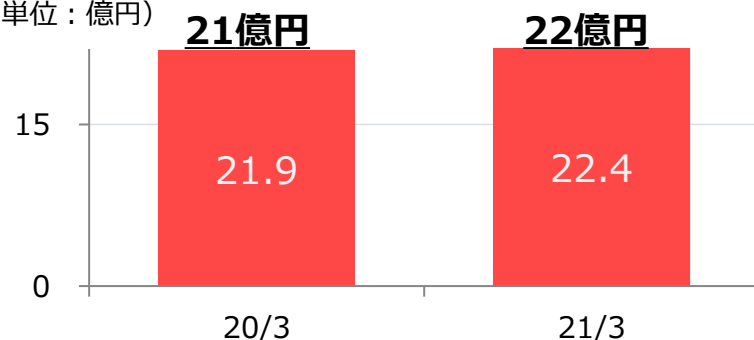
(単位：億円)



欧米他 (△10.1%)	■米国においては、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。
中国 (+12.9%)	■産業機械用伝動ベルトおよび農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
アジア (+25.0%)	■タイ・ベトナムなどにおいて、農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
日本 (△12.1%)	■機械受注の減少により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 ■コンベヤベルトや樹脂コンベヤベルトなどの販売が減少。

コア営業利益

(単位：億円)

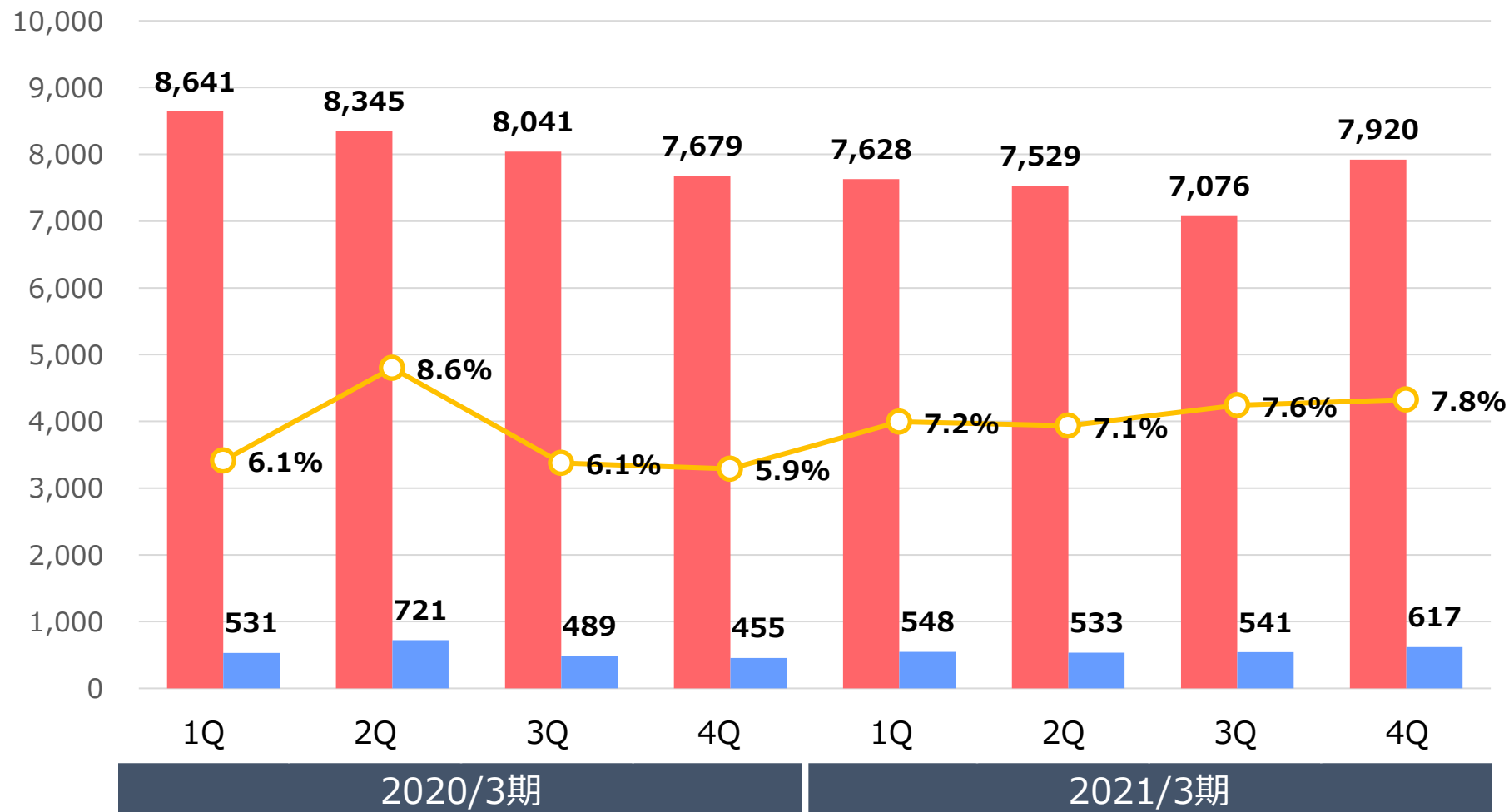


コア営業利益 (+2.0%)	■販売は減少したが、徹底した原価低減活動により、利益が増加。
-------------------	--------------------------------

産業資材事業 四半期推移

(単位：百万円)

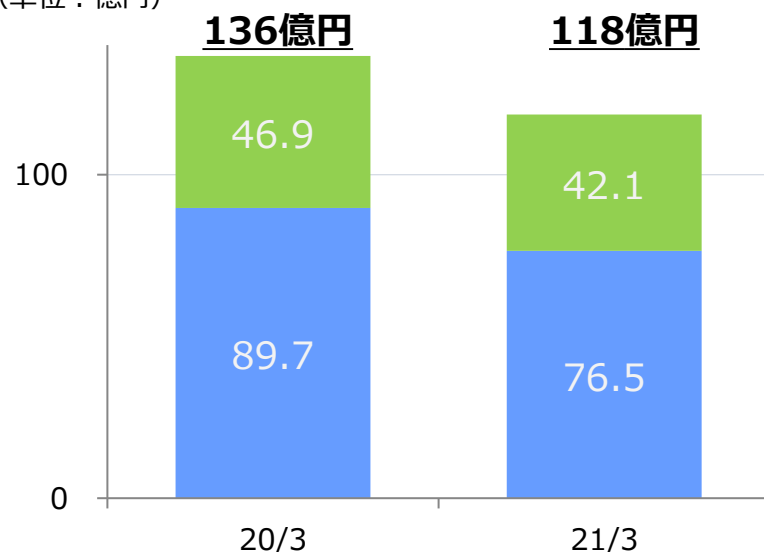
売上収益 セグメント利益 営業利益率



高機能エラストマー製品事業 概要

所在地別売上収益

(単位：億円)



機能フィルム
(△10.3%)

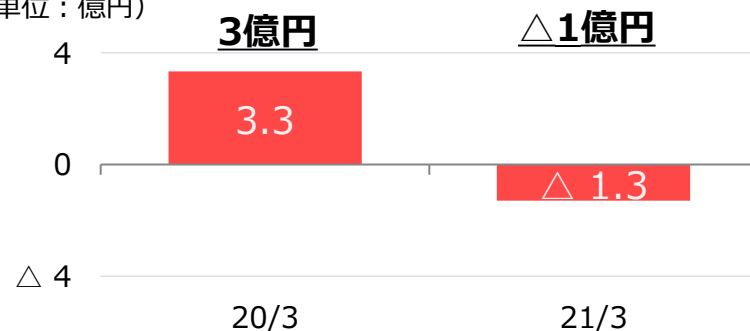
■ 建築着工の落ち込みなどにより、建築資材用、工業資材用および装飾表示用フィルムの販売が減少。

精密機能
部品
(△14.8%)

■ 主要顧客の生産は回復傾向にあるものの、年度前半の減産の影響が大きく、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードの販売が減少。

コア営業利益

(単位：億円)



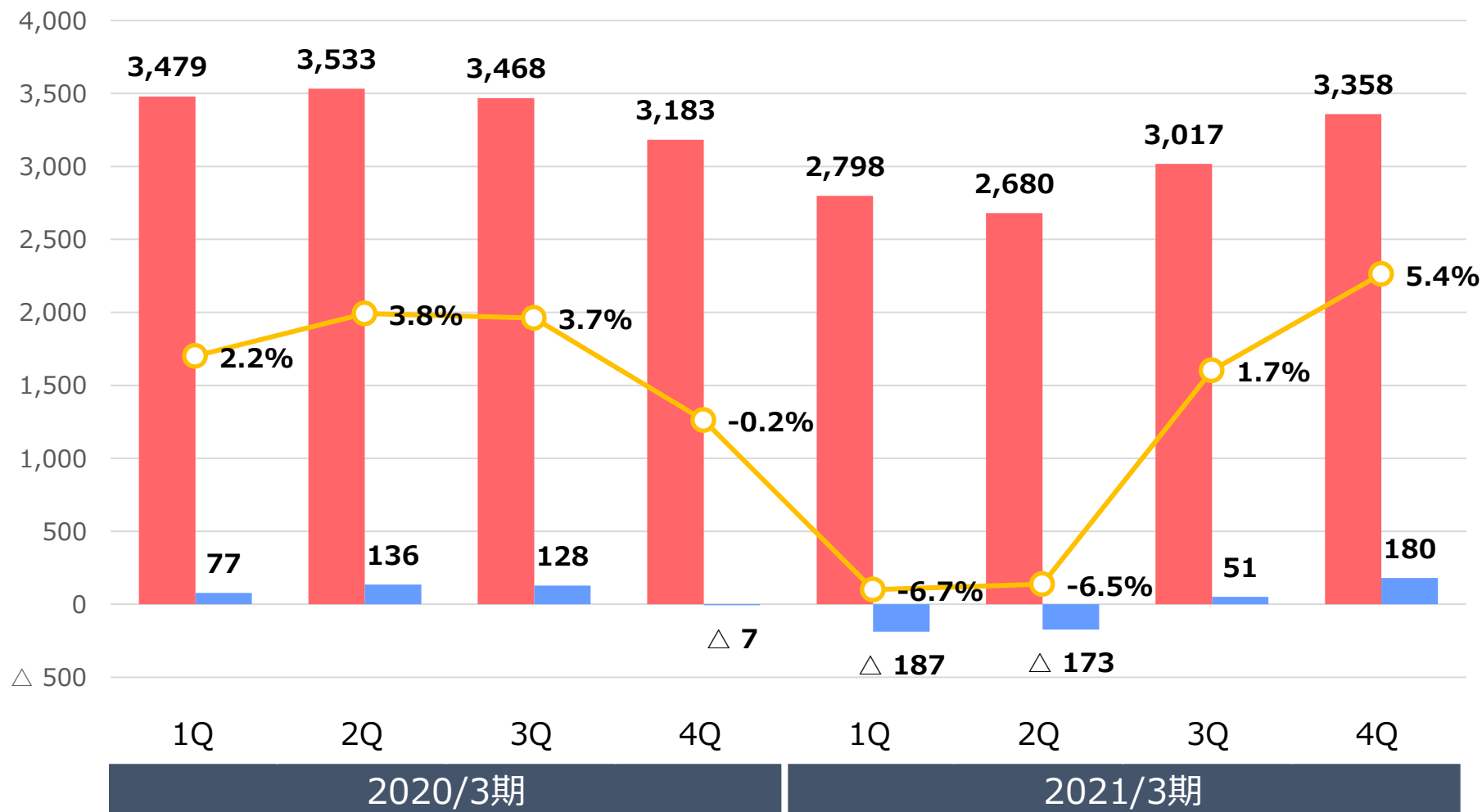
コア営業利益
(△4億円)

■ 販売の減少により、利益が減少。

高機能エラストマー製品事業 四半期推移

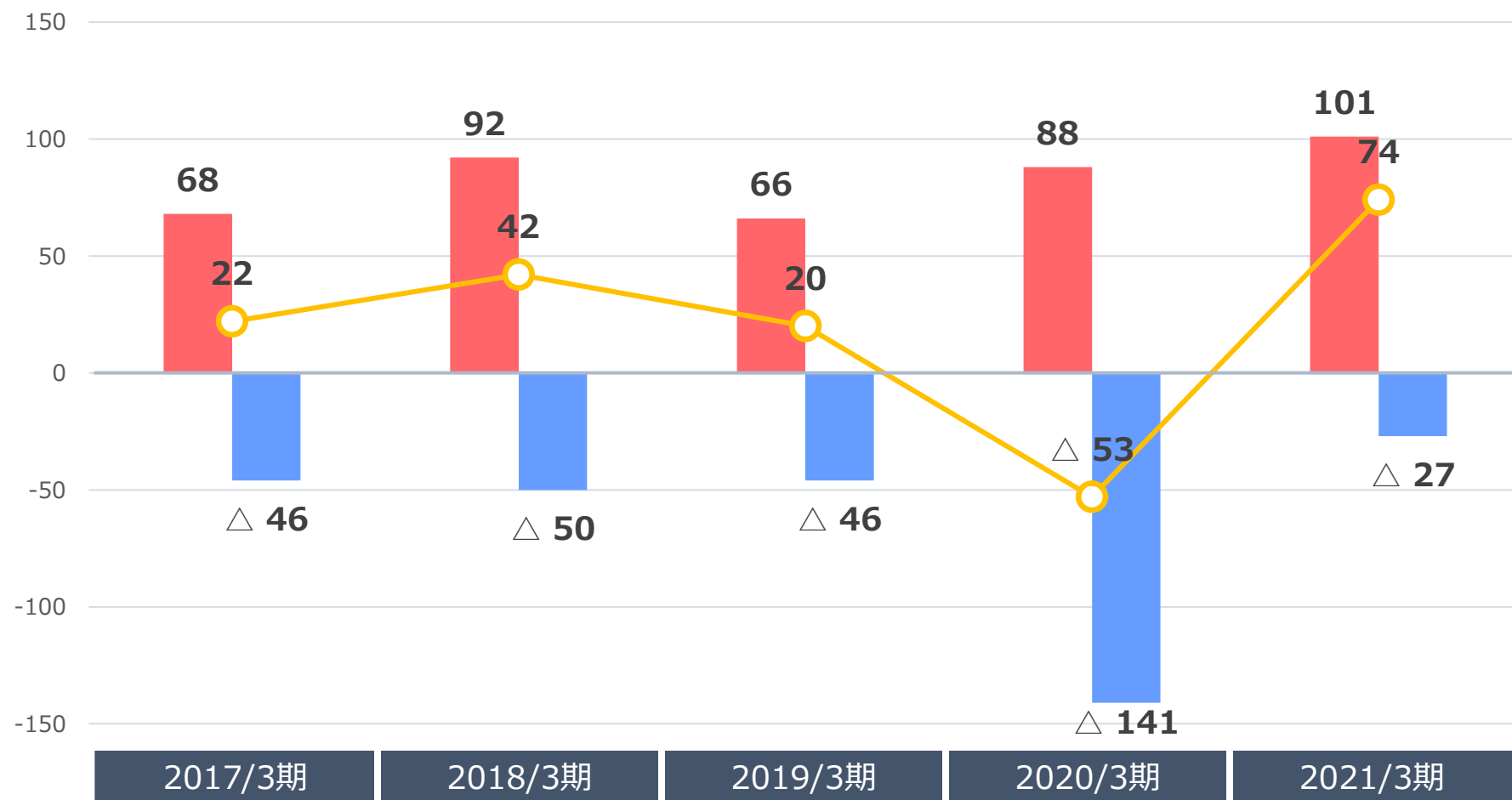
(単位：百万円)

売上収益 セグメント利益 営業利益率



キャッシュ・フロー（CF）の推移

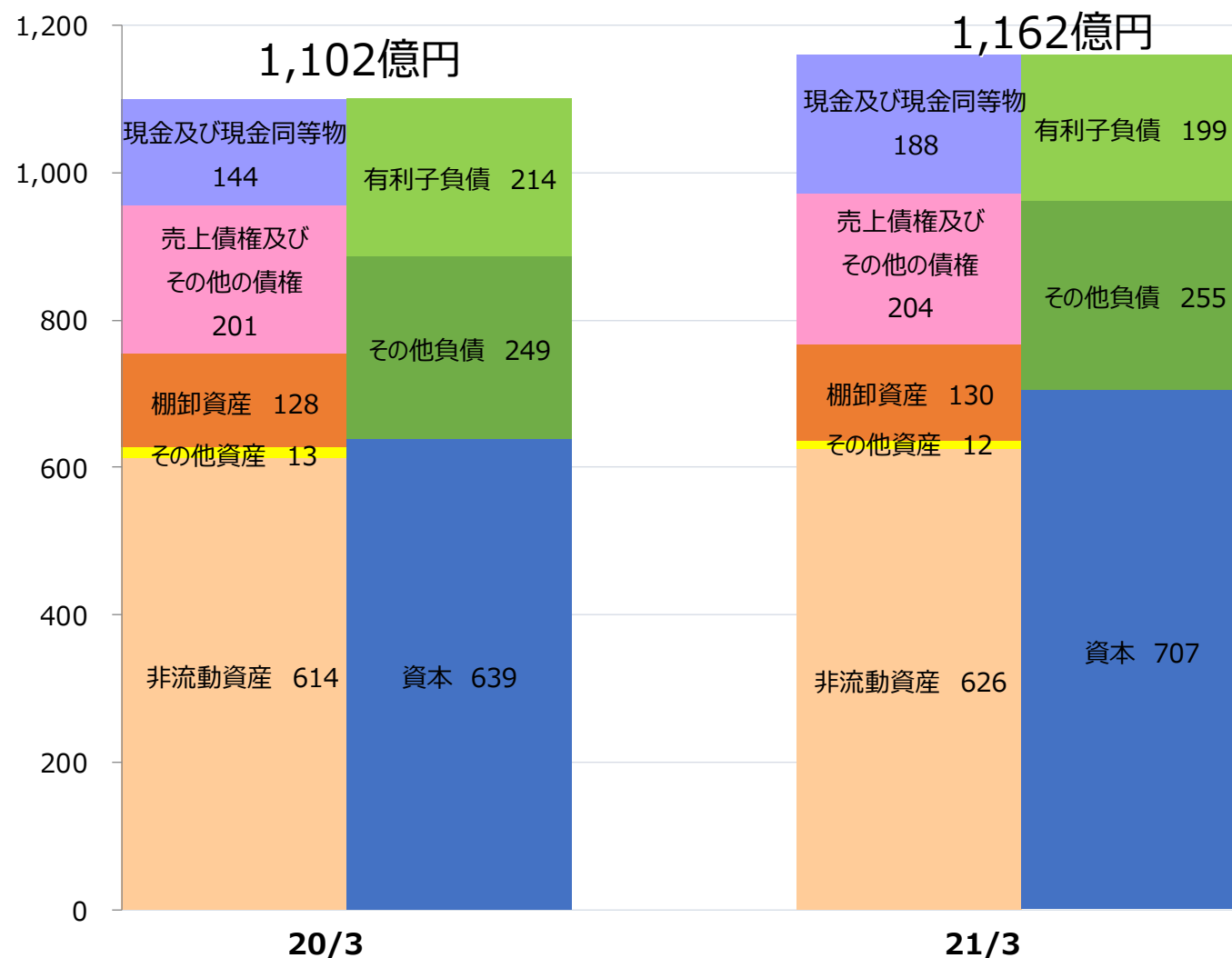
(単位：億円) ■ 営業活動 ■ 投資活動 ● フリーCF



※ 1 20/3期の投資活動によるCFには、株式会社Aimedica MMTの取得による支出（92億円）が含まれております。

連結財政状態計算書

(単位：億円)



資産

- 新型コロナウイルスの感染拡大に備え、一時的に手元流動性を高めたこと、およびフリーCFの増加に伴う、現金及び現金同等物の増加 (+43億円)

負債

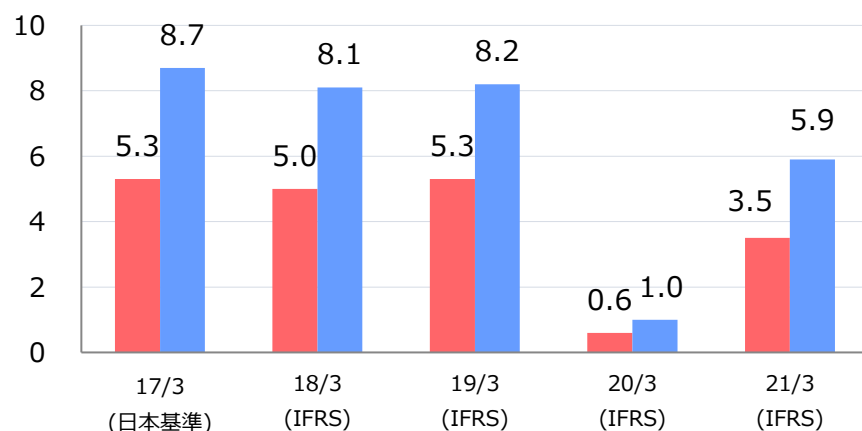
- フリーCFの増加に伴う、有利子負債の削減 (△15億円)

資本

- 利益剰余金の増加 (+35億円)
- 為替や株式市場の変動によるその他の資本の構成要素の増加 (+32億円)

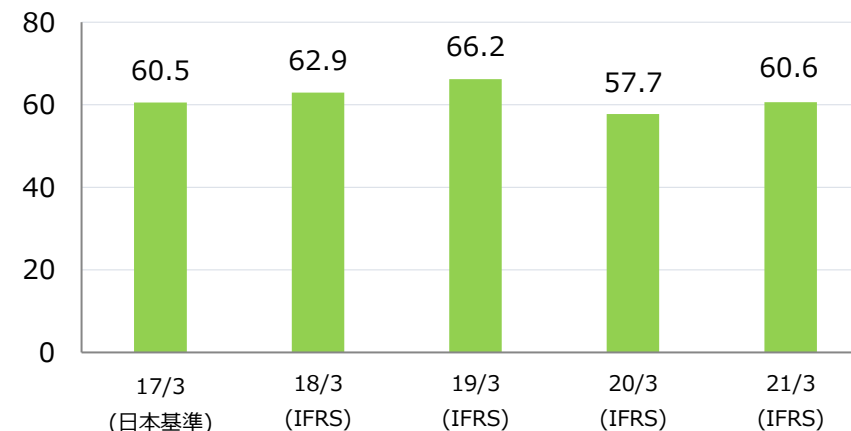
ROA / ROE

(単位 : %) ROA ROE



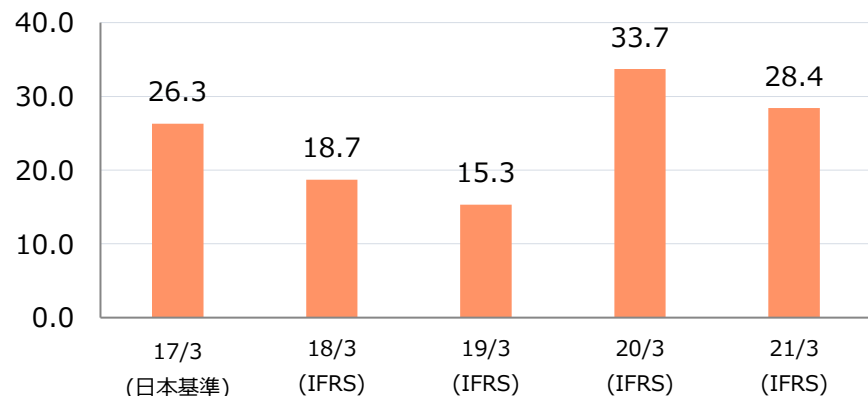
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)

(単位 : %)



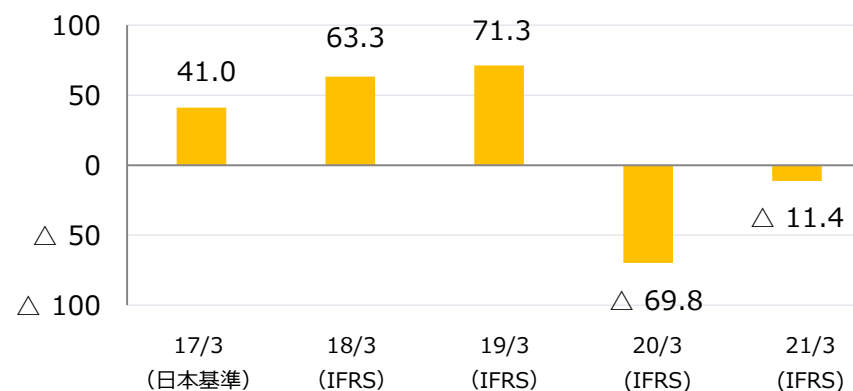
D/Eレシオ

(単位 : %)



ネットキャッシュ／純有利子負債

(単位 : 億円)



主なトピックス

2020年	5月	● 光半導体向け「FlowMetal®」を販売開始
	6月	● 精度の高い透明性のある「飛沫感染防止用PVCフィルム」を販売開始 ● 「Bando Asia & Pacific Co., Ltd.」(タイ)の会社清算手続きを開始
	8月	● 食品用非付着性ベルト「ミスターシルキータッチ®」を販売開始 ● 建装材用薄膜ポリエチレンフィルム「テクリア®EGS-T」を販売開始 ● NEDO事業「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発」に採択
	10月	● 医療機器「ATメジャー®」を販売開始
2021年	1月	● 南海工場「無災害記録840万時間」達成 ● 「Bando (Shanghai) Industry Equipment Element Co., Ltd.」(中国)の会社清算手続きを開始
	2月	● 医療機器の品質マネジメントシステム「ISO13485 : 2016」認証を取得
	3月	● 「健康経営銘柄2021」、「健康経営優良法人2021(ホワイト500)」に選定



銀ナノ粒子接合材
「FlowMetal®」



飛沫感染防止用
PVCフィルム



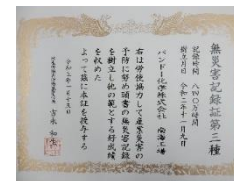
「ミスターシルキータッチ®」



「テクリア®EGS-T」



「ATメジャー®」



Ⅱ． 2022年3月期 業績予想

2022年3月期 業績予想



(単位：百万円、%)

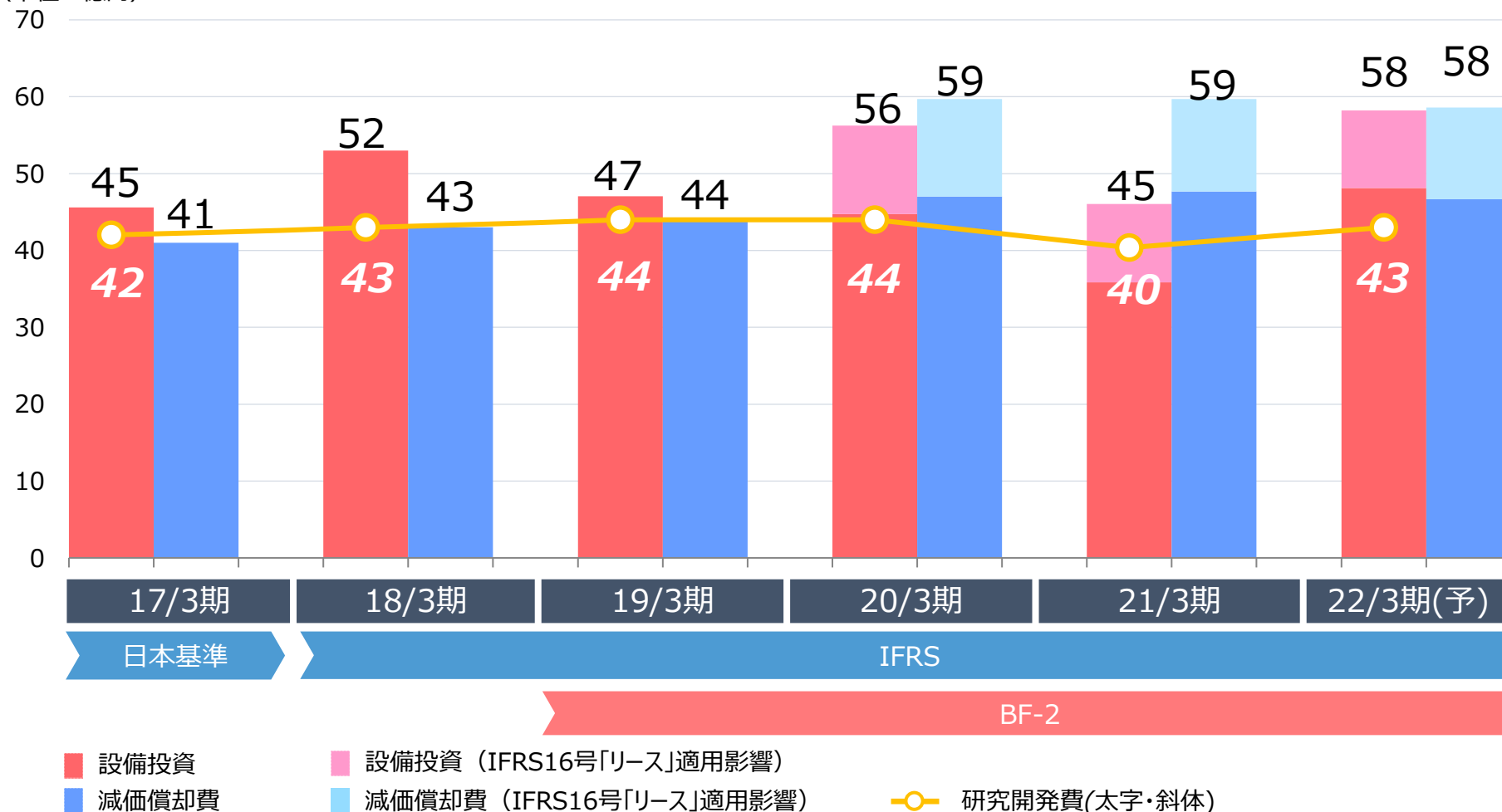
		2020/3 実績	2021/3 実績		2022/3 予想	
					前期比	
売上収益		90,247	81,371	90,000	+8,628	+10.6%
コア営業利益		5,252	4,938	6,000	+1,061	+21.5%
営業利益		2,056	5,377	6,500	+1,122	+20.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益		682	3,943	4,500	+556	+14.1%
為替レート	USD	108.93	105.93	100.00		
	THB	3.51	3.41	3.25		
	人民元	15.59	15.65	15.20		

- 各国の経済政策の実施や新型コロナワクチンの普及により、景気の回復が期待されることから、増収増益を見込む。
- 自動車分野における新型コロナウイルスの感染拡大や半導体の供給不足による先行き不透明感等、回復の下振れリスクは残る。

設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移

需要の回復および収支の改善に伴い、22/3期の設備投資を拡大

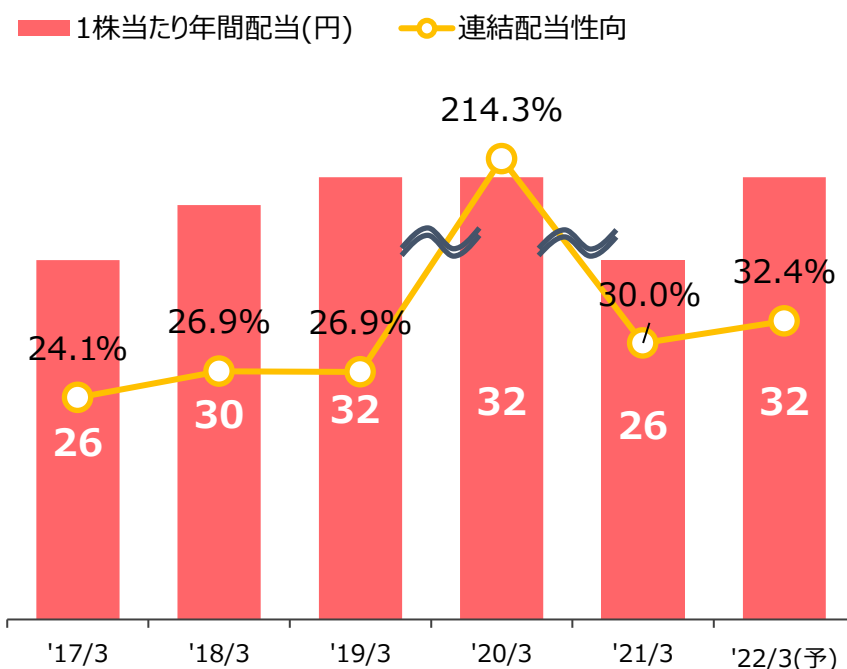
(単位：億円)



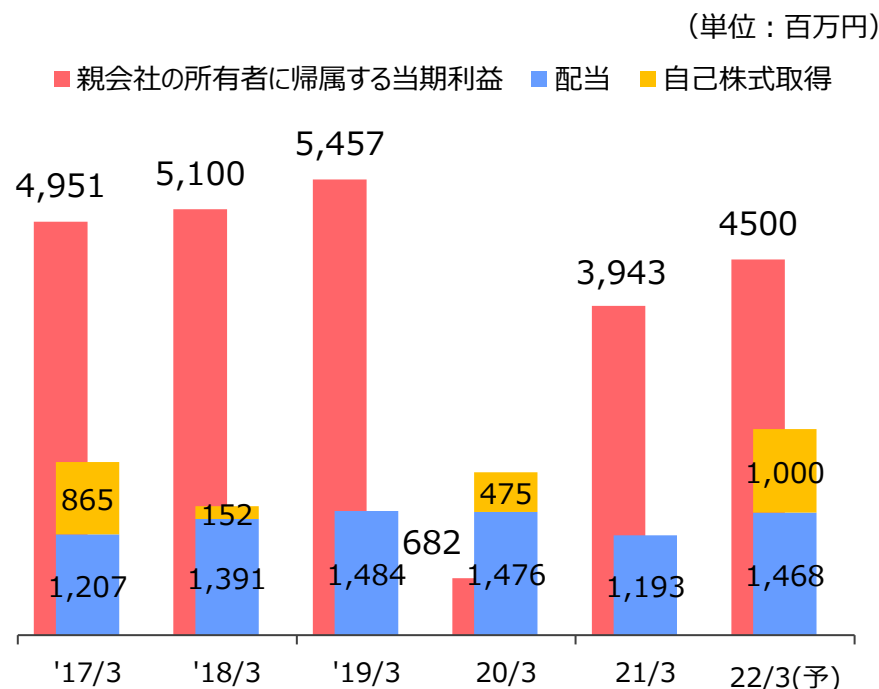
基本方針

収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。